

快適な情報通信サービスを目指して

◎鬼北地域情報通信サービス提携業務に係る協定書調印式

情報通信基盤整備事業のサービス提携業者が宇和島ケーブルテレビ株式会社と決定し、10月29日、中央公民館で業務提携に係る協定書の調印式が行われました。

調印に先立ち、松浦甚一鬼北町長と岡武男松野町長があいさつ。情報格差の解消と快適な情報通信サービスの実現に期待を寄せた上で、住民の望むサービスの提供が得られるよう宇和島ケーブルテレビ株式会社に要請しました。これに對



▼堅い握手を交わす岡松野町長、新津宇和島ケーブルテレビ代表取締役社長、松浦鬼北町長（左から）

し、新津昌男宇和島ケーブルテレビ株式会社代表取締役社長は「この地域に貢献できることは我々の会社にとっても非常にありがたいこと。難しい問題も、三者の話し合いにおいて解決していきたい」と今後の抱負を述べました。

宇和島ケーブルテレビ株式会社は、テレビやインターネットなどのサービス提供と施設の維持管理などを行うこととなります。今後、この協定に基づき、サービスに関する協議を実施していきます。

情報通信基盤整備事業は、情報格差解消などを目的に、平成21年度から2年かけて町内全域に光ファイバーケーブル網を整備し、テレビ放送、インターネット、防災行政放送などの利用環境の向上を目指すものです。財政負担を軽減するため、松野町と2町連携で実施し、平成23年度からの運用開始を計画しています。

明るい町づくりに貢献

◎四国電力街路灯贈呈式

四国電力株式会社から町へ街路灯の寄贈が決まり、10月23日、町長室で街路灯贈呈式が行われました。

式には、四国電力株式会社宇和島支店、町関係者ら5人が出席。石川裕司副支店長が「明るいまちづくりのためにご活用ください」と述べ、松浦町長に目録を手渡し、自治会を代表して

▼石川副支店長から灯具を受け取る浦田区長(左)



出席していた浦田征雄旭町区長へ灯具が贈られました。

この事業は、四国電力株式会社が毎年10月に「よんでんグループふれあい旬間」の一環として行っているもので、明るいまちづくりに貢献しようと、各自治体へ街路灯を寄贈しています。

今回寄贈を受けた街路灯6灯は、事前調査で希望のあった旭町、今在家、奈良、上川地区へそれぞれ設置されています。

説明懇談会がスタート

◎鬼北地域情報通信基盤整備事業

平成21年度から工事を開始する情報通信基盤整備事業の説明懇談会が11月4日から始まりました。

11月11日に行われた上鍵山地区の説明懇談会には、町と宇和島ケーブルテレビ株式会社、住民ら23人が出席。町の職員が、事業の概要と今後の計画、この事業によって可能になるサービス

について説明しました。また、各家庭が負担することになる宅内工事費用、ケーブルテレビやインターネットのサービスを受けるための加入負担金、使用料などを説明しました。

説明懇談会は、来年3月まで地区単位で開催されます。日程については、事前にお知らせします。

▼懇談会の様子

